

いよいよ梅雨がやってきます。近年は線状降水帯による豪雨災害があらゆる地域で発生しています。徳島県も例外ではなく、いつ集中豪雨が発生するかわかりません。それに対する備えを事前にしっかりしておきましょう。

令和3年5月20日から

避難指示で必ず避難

避難勧告は廃止です

昨年度の5月20日から新たな避難情報に変わり、「避難勧告」が廃止されるなど、避難のタイミングを判断する情報がより明確になっているよ。



※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず警戒される値ではありません。
 ※2 避難勧告は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて避難行動を開始する必要があります。避難の準備をしたら、危険を感じたら自主的に避難する

- 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！
- 避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。
- 避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

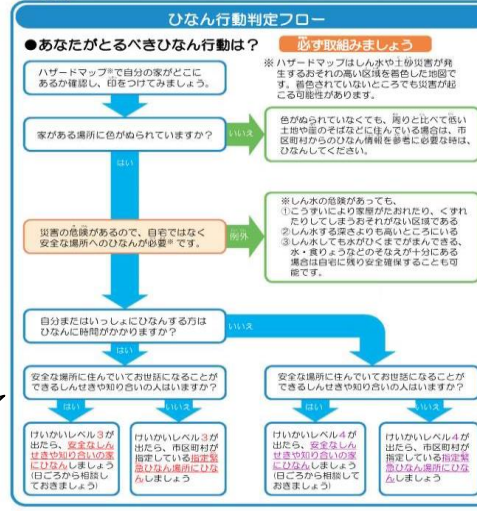


内閣府HPはこちら



台風・豪雨時にそなえてハザードマップといっしょに「ひなん行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



自宅の災害リスクととるべき行動を確認するための「避難行動判定フロー」だよ。1人で家に居る時でも、確実に避難して命を守れるように、事前に家族で話しあっておきたいね♪

6月1日から線状降水帯予測が開始されるそうです。詳しくは気象庁HPを見てね



線状降水帯の予測を開始

6月1日から、産学官連携で、スーパーコンピュータ「富岳」も活用し、世界最高レベルの技術を用いた線状降水帯予測を開始します。

<令和4年度の実施内容>

半日前からの予測情報の提供

線状降水帯による大雨について、早めの避難につなげるため、たとえば、「半日後に、九州北部で発生」といった予測を開始。(深夜や未明の状況を予想して、明るいうちに避難の心構えを！)

今後、引き続き技術開発等を進め、更なる予測精度向上を図っていく

水蒸気観測の強化と集中観測の実施

観測機器の整備を強化・前倒し
産学官連携を活用し、大学や研究機関との連携による集中観測を実施

スーパーコンピュータ「富岳」の活用

スーパーコンピュータ「富岳」を活用し、開発中の予報モデルのリアルタイムシミュレーション実験を実施

キキクルとは?

近頃今気象庁の危険度をリアルタイム表示

自分がある場所の災害の危険度を地図上で確認できます。

大雨警報(土砂災害)
大雨警報(浸水害)
洪水警報

危険度を5段階で色分けして表示

色分けされた危険度表示がリアルタイムに更新される

色分けされた危険度表示がリアルタイムに更新される

災害から我が子の命を守るために

自ら情報を得ることが大切なひとを守る第一歩。せまる危険に気付くのはほかにないあなたです。気象庁アプリ/アプリ

身にせまる災害を一目で確認

キキクル

この雨大丈夫?そんな時は気象庁ホームページで確認

気象庁

キキクル

大雨・洪水警報の危険度分布

身にせまる災害を一目で確認

この雨大丈夫?そんな時は気象庁ホームページで確認

キキクル

気象庁

危険度がリアルタイムに表示される気象庁の「キキクル」も活用してみよう☆

